

2013年7月15日発行

K

(公社)神奈川県理学療法士会ニュース
The Kanagawa
Physical Therapy Association
News

P

7 2013
July
No.252

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical Therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 秋田 裕 ○編集 | 加賀谷善教

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[25.6.1現在]

3,726名

Contents

P1▶巻頭言 P2▶活動報告/会長行動報告 P3▶会員ライフサポート部活動報告40報 P5▶学会情報 P7▶新人教育プログラム
P8▶研修会・講習会 P12▶information P14▶理事会報告 P17▶ちよいんと P18▶解剖こぼれ話 P19▶洋書よみましょ P20▶求人案内
P28▶編集後記/原稿・広告送付先

巻頭言



スポーツ理学療法の可能性

公益財団法人横浜市体育協会 横浜市スポーツ医科学センター
リハビリテーション科長 鈴木 仁人

「スポーツに関わりたくて理学療法士を志した…」という話を、ここ数年いくつもの教育現場から聴きます。一方、就職を意識する頃には「スポーツ関連の職場は狭き門」というのが常套句。よほどの情熱か伝手を持つ学生が果敢に挑む、夢物語に近い世界になってしまうようです。

私の所属施設もスポーツと標榜しているせいか、限られた選手を扱う特殊施設という見方をされることが少なくありません。確かにトップスポーツに関わることをスポーツ理学療法とするなら、誰も関われるわけではない狭い領域です。しかし、実際のスポーツの領域はさほど狭くはない、というのが現場に関わる我々の意見です。

以前のスポーツの第一義は身体を動かすことで、レクリエーションスポーツ、学校部活動、学校保健体育などが中心でした。一方、現在の“スポーツ”は非常に多様化し、地域における社会活動としてのスポーツ、人間形成や学習の場としての生涯スポーツ、健康増進や介護予防のための運動、障害者スポーツなど幅広い活動が含まれています。“スポーツ”の持つ多様な側面に可能性が見出され、幅広い世代が活用するツールになってきています。同様の流れで、かつて企業中心であった競技スポーツも、地域のスポーツ振興や経済発展に寄与するプロスポーツへと変貌しつつあります。平成23年に公布されたスポーツ基本法によりこれらの傾向はますます加速し、スポーツに関する社会的なニーズは増えるはずで

私の所属施設に関する横浜市の条文は、このようなニーズに応えるスポーツ理学療法の可能性を端的に示しています。

「スポーツ医科学に基づき、健康状態や体力に応じたスポーツプログラムを提供するとともに、スポーツを疾病の予防及び治療等に役立てることにより、市民の健康づくりの推進、スポーツの振興及び競技選手の競技力の向上を図る」(横浜市スポーツ医科学センター条例第1条)

施設の事業として、中高年の疾病予防やロコモティブシンドローム対策の教室の中でアスリートのサポート経験から導かれた運動プログラムが行われています。スポーツに対応する理学療法士の経験や工夫は、一般のリハビリテーションや予防医学にも生かせるのです。

スポーツ理学療法の専門性は、より厳しい条件や環境にある競技スポーツに対応できることにあります。その対応には「激しさに耐えうる強靱な身体を目指すトレーニング」を見据えた視点と、「違和感や不快感を招く些細な異常を見逃さない治療」を行う視点の両方が求められます。理学療法士がこのような広い視野を身につけることは、多様な“スポーツ”活動への対応力を持つことにつながります。スポーツ理学療法の専門性は限られた領域ではなく、むしろ現代のスポーツを取り巻く幅広い社会的ニーズに応えるものなのです。

理学療法士の活動の場は、これまでは医療機関で利用者を迎えることが中心でした。しかし、昨今の医療や介護における予防の機運とともに求められる役割も変容しています。我々のスポーツ理学療法の活動も障害予防の啓発や早期発見に視点が移りつつあり、メディカルチェックや障害予防教室、スポーツ大会や学校部活動のサポート、テレビなどのメディアを通じた情報発信など、医療側からの積極的な社会への働きかけが重要になってきています。

スポーツが多様化する社会情勢を反映する形で、日本理学療法士学会の分科学会として、日本スポーツ理学療法学会が立ち上がることも今年4月に承認されました。この学会を通じて様々なスポーツ医学の知見や現場の経験が共有され、スポーツ理学療法の新たな可能性も認知されることになるでしょう。我々もスポーツを志す学生の想いが途切れないように、「狭い門戸」を広げるべく、さらなる活動に邁進していきたいと思っています。

活動報告

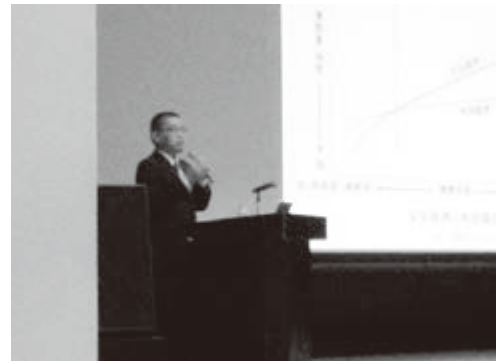
平成25年度新人オリエンテーションを終えて

総務部長 木下 尚久 (介護老人保健施設つくしの里)

去る6月1日(土)、横浜市西区公会堂にて、平成25年度新人オリエンテーションが行われました。当日は、土曜日の午後にも関わらず約300名の参加者が有り、会場はほぼ満席となりました。秋田 裕会長の挨拶に続き、本会の役員紹介、2014年に相次いで開催される第31回神奈川県理学療法士学会と第49回全国理学療法学会のプレゼンテーションが行われました。特に県学会のプレゼンは、動画を用いた斬新かつ素晴らしい内容で、会場の彼方此方から驚きと称賛の声が挙がっていました。宮本 真明学会長を始め準備委員の皆さんの意気込みが十分に伝わるプレゼンテーションでした。

メインプログラムは、有限会社 訪問リハビリテーションネットワーク代表取締役である大森 豊先生をお招きして『理学療法における危険予知』をテーマに講演会を行いました。急性期から生活期にわたる長年の臨床経験に基づいた熱のこもったご講演は、新人ならずとも非常に興味深く拝聴する事が出来ました。締めくくりは、生涯学習部長の木村 充弘先生による生涯学習新人教育プログラムについての説明がありました。早速6/23から始まる新人教育プログラム研修を皮切りに認定理学療法士から専門理学療法士へと続く長い道のりを、皆さん真剣な表情で聴き入っていました。新入会員の皆様には、日々の忙しい臨床や研究活動に没頭しつつも、まずは新人教育プログラムの終了を目指してほしいと思います。

最後になりましたが、貴重な週末にも関わらず新人オリエンテーション運営にご協力くださったスタッフ各位に感謝御礼申し上げます。



月	日	内容	場所
4月	3日(水)	会務決済	事務所
	8日(月)	会務決済	事務所
	15日(月)	会務決済、アルプスの杜社 PT 募集対応	事務所
	20日(土)	会務決済、第1回事業運営会議	事務所
	21日(日)	アーリア 20 管理組合総会	事務所
	25日(木)	第49回学会準備委員会	事務所
5月	1日(水)	会務処理	事務所
	8日(水)	会務処理	事務所
	9日(木)	県医療専門職連合会理事会	県放射線技師会事務所
	11日(土)	東京都理学療法士協会公益社団法人移行記念事業	ハイアットリージェンシー東京
	12日(日)	PT 協会理事会	田町カンファレンスセンター
	14日(火)	会務処理、第49回学会準備委員会広報局会議	事務所
	19日(日)	監査会、賛助会員懇談会	事務所
	21日(火)	会務処理、第1回理事会	事務所
	23日(木)	総会議事運営委員会	名古屋ワシントンホテルプラザ
	24日(金)	第48回PT学会、理学療法学編纂についての打ち合わせ、レセプション	名古屋国際会議場
25日(土)	第48回PT学会視察	名古屋国際会議場	
26日(日)	第48回PT学会、拡大学会担当運営幹事会議	名古屋国際会議場	



復職支援実務研修体験レポート

会員ライフサポート部 杉山 さおり

会員ライフサポート部
活動報告 第40報
職場環境を考える

神奈川県士会の皆さま、はじめまして。川崎市在住（自宅会員）の杉山 さおりです。妊娠・出産・育児に伴い、離職して10年が経ちました。昨年度2月から3月にかけて、会員ライフサポート部の復職支援研修を受けさせて頂きましたので報告致します。

1. 参加動機

昨年9月、福岡県士会から転入してきた際に県士会ニュースと一緒に復職支援研修の案内が送られてきました。

以前、会員ライフサポート部の前身にあたる「女性支援部会」の時に、交流会や関東ブロックの研修会でのシンポジウムなどに参加したことがありました。そのため5年ぶりに福岡から川崎に戻り、活動を継続されていることを知って大変嬉しく思うのと同時に、機会があったら研修に参加したいと思っていました。

10年前、第1子の妊娠中に過労で肺炎を起こして入院したのを機に、当時勤めていた診療所兼訪問看護ステーションを退職しました。その3年後の第2子の出産までに夫を説得し、第2子の産後1年で、在宅支援センターで月2回のパート勤務に就きました。その時期、子ども達は、幼稚園と一時保育を利用していました。その翌年、会員ライフサポート部の萩原先生のご紹介で、週1回の訪問リハビリのパートの仕事に就きました。しかし、その直後に夫の福岡への転勤が決まり、福岡での5年間は仕事に就かずに過ごしました。仕事に就かなかった理由は、環境に慣れること、一時保育の制度がなかったこと、また短期間でパート勤務をした際に、自信をなくしていたことがありました。

しかし、昨年11月の「PTママの会」の勉強会で、PT協会の半田会長から「訪問リハビリは、時間に融通も利くため、今後女性が働きやすい活躍できる職場だろう」とのお話を伺い、もう一度訪問リハビリについて、復職の可能性があるかどうか？確かめてみたいという思いが強くなり、研修に申し込むことになりました。

2. 研修まで

研修先は、会員ライフサポート部から提示のあった、川崎市麻生区にある『有限会社 訪問看護リハビリテーションネットワーク』（以下『訪問看護リハ・ネットワーク』）にお願いしました。

訪問看護リハ・ネットワークは、PT6名、看護師3名、事務員2名の会社で、小田急線の百合ヶ丘駅前のマンションの1室に事務所を構えています。

研修を担当して下さったのは、齋藤 崇志先生。会社設立当初からのスタッフで、訪問リハの書籍などの執筆もされている訪問リハのスペシャリストです。

訪問看護リハ・ネットワークも復職支援研修の受け入れは初めてのことで、事前にメールで何度かやりとりさせて頂き、研

修内容等についても希望を聞いて頂きました。

以前パートで訪問リハに復帰した際、関わる疾患が多岐に渡り、一人職場で対応することの難しさを感じていたため、出来るだけ多くの疾患を経験させて頂きたいことや、知識面のフィードバックもお願いしたいことをお伝えしました。

通常は、バイクで訪問されていますが、私自身がバイクの運転に不安があったため、自家用車で同行させて頂きました。



本人 齋藤崇志先生

(研修最終日の最後の訪問先で、患者様の奥様に撮影していただきました。)

3. 研修内容

	2/22 (金)	3/8 (金)	3/11 (月)	3/12 (火)	3/13 (水)
9:00	8:15 ~ 事前打合せ 8:45 ~ 訪問同行		T様 (同行スタッフ齋藤)	O様 (同行スタッフ笠原)	
10:00	10:00 ~ 打合せ			N様 (同行スタッフ笠原)	
11:00			M様 (同行スタッフ齋藤)		11:15 ~ W様 (同行スタッフ齋藤)
12:00					12:30 ~ S様 (同行スタッフ齋藤)
13:00		M様 (同行スタッフ齋藤)		N様 (同行スタッフ齋藤)	
14:00			T様 (同行スタッフ齋藤)		
集合時間 (場所)	8:15 (事務所)	12:45 (事務所前)	8:40 (事務所前)	8:40 (事務所前)	11:15 (W様宅前)
解散時間 (場所)		15:15 (T様宅で現地解散)	12:00 (M様宅で現地解散)	14:00 (N様宅で現地解散)	13:45 (S様宅で現地解散)

対象疾患：脳血管疾患（PD 4件、脳幹梗塞、不全麻痺）整形疾患2件、肺気腫1件、心不全1件

フィードバック：

訪問リハ総論、RAの治療薬について、体力測定について（文献の紹介）、訪問の都度、訪問先の状況についてのディスカッション

4. 研修を終えて

常勤勤務から10年、パート勤務から5年のブランクがある中、復職を考える際いくつものハードルがありますが、研修に参加したことで以下の点について成果がありました。

活動報告



1) 復職の具体的なイメージを持つことができた

日常生活の中では、復職を望んでいても自分の中での想像の域を脱することができないため、現実的な復職への道筋を考えにくい状況に置かれます。しかし研修に参加し、実際に臨床の現場に立ったことで、復職を考える際に自分自身に何ができるか?復職するために何が必要か?ということをも具体的にイメージし、考えることが出来るようになりました。

2) 最新の知識を得ることができた

訪問時に疑問に思ったことを、帰宅後簡単な報告書にまとめ、メールで送らせていただきました。研修終了までに、RAの治療薬や訪問時に行える高齢者の体力評価の方法についての情報を得ることができました。離職中に気になる講習会には参加していたものの、実際の臨床現場での変化を生活の中で掴むのは難しく、医療が日進月歩であるということに改めて感じ、復職に向けて新しい情報を入手する必要性も感じました。

3) 訪問リハへ復職するための課題がわかった

以前常勤で訪問リハに従事していた時には、患者様を複数のスタッフで担当する方法を取っていたため、新卒で行政に勤務し臨床の技術・知識の積み上げが十分に出来なかった私でも、周囲のスタッフと情報交換をすることで訪問リハの業務を実施することができていました。しかしパートで勤務した際、1人職場で様々な疾患を担当するに当たって技術・知識の不足を感じ、その後の復職に自信をなくしたことも復職から遠ざかった理由の一つになっていました。

そして今回の研修に参加して、10年前は介護保険制度が始まったばかりで、訪問リハも、まだ定着していませんでしたが、需要が増え、入院日数も短縮されて早期に在宅生活に戻れるケースが増えているという現状がわかりました。また、訪問でのパート勤務は大きな法人の訪問看護ステーションなどに限られ、研修先の会社ではパートの採用はしていないとお話を直接伺い、パートで訪問リハに関わること自体の難しさがあることを知りました。

訪問リハへの復職を考える際には、技術・知識の再構築が必要であり、バックアップ体制を取っていただける職場やパート

勤務の実績のある訪問看護ステーション等を探すなど、勤務先の条件を確認していく必要があることがわかりました。

4) 家族の協力体制を築けた

復職に向けてのもう一つのハードルは、家族の理解と協力を得ることです。これまでは夫の仕事が忙しいため、自分1人で抱えなければいけないと思い込み、そのハードルを越えられずにいましたが、今回研修に参加するに当たって事前に話し合いをし、早朝に外出する際に協力が必要なことを伝え、夫にも子ども達にも協力してもらうことができました。

これまで家にずっといた母・妻が外へ出て働くということが、家族の生活にどのように影響するのか?ということも家族も体験することが出来たことは、復職に向けて協力体制を築くのに役立ちました。

5. まとめ

5日間に渡って研修に参加させて頂き、復職に向けての課題の整理ができました。

訪問リハは、私が理学療法士になりたいと思い始めた時から目指していた職域であるため、出来ることなら訪問リハでの復帰を目指したいと、この研修を通して思いを強くしました。

10年間専業主婦の生活を続ける中で、母親が家にいるメリットも感じているため、すぐにフルタイムの常勤勤務への復帰は考えにくい状況です。しかし訪問リハのパート勤務という形が実現可能かどうか?自分自身が訪問リハに復帰することが可能かどうか?また長い目で見た時に訪問リハの必要性が今後高まる中、女性が活躍できる職域になり得るかどうか?今後検討していきたいと思えます。

また、この10年間、生活者として医療やリハビリテーションの世界を外側から見て感じたこともあり、今後の臨床に活かして行けたらと思っています。

最後になりましたが、研修を快く引き受け丁寧にご対応いただきました(有)訪問看護リハビリテーションネットワークの大森先生、齋藤先生をはじめスタッフの皆様と、この機会を提供して下さいました会員ライフサポート部の皆様に、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

*** 会員ライフサポート部からのお知らせ ***

■今年度も研修生募集しています!

- ①平成25年度復職支援実務研修……詳しくはp27の求人欄をご覧ください
- ② 託児室付研修会&交流会 ……詳しくはp9をご覧ください

■会員ライフサポート部部員募集

一緒に活動して下さる方大募集。年数回、神奈川県理学療法士会事務所が集まって活動しています。また、会議には参加できないけれど、ご意見、ご要望がある、メールを通して活動に参加したい方(メールサポートメンバー)も随時募集しています。

連絡先: lifesupport@pt-kanagawa.or.jp (会員ライフサポート部 寺尾)



第49回日本理学療法学会大会だより (No.4)

学会準備委員会準備委員長 小西 聡宏 (横浜市立大学附属病院)

全国学会も終わり早1か月半が過ぎました。

例年になく早い梅雨入りでじめじめと蒸し暑い日が続きましたが、そろそろ明けるところでしょう。

今回は、愛知大会での準備委員会の活動について報告をさせていただきます。

その前に準備委員会の組織について説明いたします。神奈川大会では、事務局・財務局・広報局・運営局・渉外局・学術局の6局で編成され、局の階下にそれぞれの部が構成されています。学会には各局から多く準備委員の方々が参加し視察をいたしました。事務局と財務局はお留守番でしたので、参加した局の活動を順次説明いたします。

まず広報局です。学会開催の宣伝の担当です。学会へ参加された方はご存知かもしれませんが、一番目立っていました。目立たないほうが問題なので活動としては成功です。学会受付の近くで幟を立て、お揃いのウィンドブレーカーを着用し、開催案内チラシ、宣伝グッズ（ポケットティッシュ、ハンドタオル）を汗水たらしながら配布しました。昨年度の兵庫大会よりも力が入っており、ある学会参加者から『去年はポケットティッシュだけでしたよね。新たなグッズが増えましたね』というお言葉をいただき、宣伝効果は浸透していると実感しました。ちなみにグッズ配りは大会長はじめ他局の準備委員の方々にも手伝っていただきました。

次に渉外局です。渉外部と企画部から成り、渉外部では企業の協賛を得るために企業展示ブースを視察し、各企業に出展していただくための挨拶回りです。簡単に言えば営業活動です。今回は50社ほど出展されており、一社ずつ丁寧に回りました。企業の要望を聴き、展示位置などを決定しなければなりません。会場の通路は狭く、機器展示とポスター展示のエリアが近く窮屈な印象がありました。神奈川大会でも機器展示とポスター会場は同一となりますので、多くの企業に出展していただくためにも配置を考慮する必要が感じられました。

企画部はレセプションおよびフードコートの企画担当です。レセプション会場の広さ、雰囲気、タイムスケジュールや料理の内容、量などを確認しました。開始の挨拶から乾杯までに25分はとても長く、挨拶は短めにして歓談を多くするような企画にしたいと考えています。今回はフードコートの設置はありませんでしたが、神奈川大会ではワンコイン程度でファーストフードやお弁当の販売をしたいと考えております。

最後に学術局です。シンポジウムや講演の企画を担当する学術企画部、演題募集等を担当する演題部、プログラム集編集等を担当する学術誌部の3部門からなります。

大会期間中に会議が開催され、演題システム運用、学術誌の編成、今後のスケジュール等に関して説明を伺いましたが、初めてのなのでイメージがつかめなかったですが、ただ一つ言えることは時間に追われることは間違いないです。

開催まで10か月余りですが、『神奈川の学会良かったね』と参加者が思えるように兵庫大会、愛知大会を踏まえて、準備委員会で企画運営をしていきたいと考えております。今後も適宜ニュースにて準備の進行状況をみなさまにご報告させていただきます。会員の皆様には多大なるご協力を賜りますようお願い致します。



新人教育プログラム



平成25年度 第二回新人教育プログラム研修会開催のお知らせ

神奈川県理学療法士会学術局生涯学習部

この度は、平成25年度の第二回新人教育プログラム研修会を開催しますのでお知らせいたします。

開催日 平成25年9月8日(日) 9:00～16:00(受付開始8:30)

開催地 神奈川県立保健福祉大学 講堂

交通 京浜急行「県立大学駅」下車 徒歩8分(案内図参照)。
※当駅は快速・特急が停車しませんのでご注意ください。
車での参加はご遠慮下さい(駐車場の準備はありません)
JR横須賀線「横須賀駅」からバス「平成町循環」、「防衛大学」、「観音崎」、「堀内」、「かもめ団地」行きのいずれかに乗車し、「聖徳寺坂下」で下車。徒歩2分。

受講費 本会会員 1,000円(受講単位に関わらず一日1,000円です)
他士会会員4,000円(受講単位に関わらず一日4,000円です)

内容 新人教育プログラム研修会

申込方法 申込は、事前Web登録方式ですので**申込期間内に神奈川県理学療法士会ホームページから事前Web登録**を行ってください!

通知された会員番号(100からはじまる8桁の番号)を用いて事前Web登録を行っていただけます。
しかし、諸々の理由により会員番号を有していない場合でも事前Web登録が行えるようには登録システムを組んでいますので、事前Web登録を必ず行ってください。
なお、**事前登録で申請したテーマ以外は単位認定できません。**ご承知おきください。

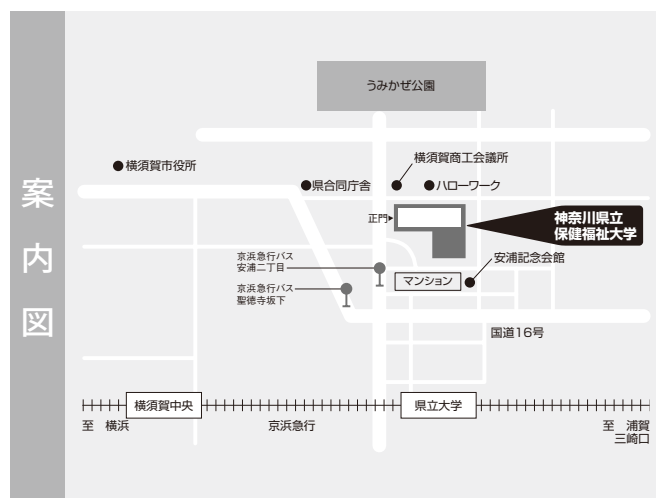
定員 450名(先着順)

申込開始日 平成25年8月5日(月)

申込締切日 平成25年8月30日(金)

※会場設備の関係上、事前登録期間内に定員に達した場合には登録を締め切らせていただきますのでご了承ください。

予定時間	研修会テーマ	単位
9:00-10:00	B-1. 一次救命処置と基本処置	1
10:10-11:10	B-2. クリニカルリーズニング	1
11:20-12:20	D-1. 社会の中の理学療法(政策含む)	1
昼食		
13:20-14:20	B-3. 統計方法論※	1
14:30-15:30	B-4. 症例報告・発表の仕方※	1



※理学療法養成機関で学士および高度専門士を取得した会員は、「統計方法論」および「症例報告・発表の仕方」の2単位が免除されます。(平成24年度入会者より該当)

高度専門士を取得しているかどうか分からない会員は、卒業した養成校にお問い合わせください。

注) 会場等の都合により当日のスケジュールが変更となる場合があります。本会HPにて最新の情報をご確認ください。

注) カードリーダーによる受講受付となります。必ず「日本理学療法士協会会員証」をご持参下さい。

注) 研修が終了したら、改めて終了受付があります(途中で帰宅する人も含む)。終了受付を済ませずに帰宅すると、**単位認定できない場合があります**ので、注意してください。

注) 昼食は各自でご用意下さい。なお、ホール内での飲食は厳禁となっております。

【お問合せ先】

横須賀共済病院 リハビリテーション科
生涯学習部 部長:木村 充広
E-mail: reha-ykh@ykh.gr.jp



●県士会主催

研修会・講習会

平成25年度 リーダー研修会のお知らせ 神奈川県理学療法士会学術講習部

平成25年度リーダー研修会の会場が決定いたしましたので、お知らせいたします。

テーマ：明日から使える行動リハビリテーション：理論から実践まで

内容：県士会ニュース5月号および県士会ホームページをご参照ください。

日時：平成25年8月18日(日)
10:00～15:30(受付開始9:30～)

会場：川崎市産業振興会館 9階 第3研修室

講師：山本 淳一 先生(慶應義塾大学・心理学研究室)

受講料：無料

申込方法：参加登録はオンライン登録をお願いします。神奈川県理学療法士会ウェブサイトの[講習会・研修会情報]から登録してください。

申込受付期間：平成25年6月18日(火)～8月9日(金)

定員：会場の都合により定員を100名→90名に変更させて頂きました。ご了承ください。

対象：神奈川県内の理学療法士
*経験年数に関わらず、ご参加いただけます。奮ってご参加ください。

単位認定：履修ポイントは現在詳細を検討中なので、判明次第、県士会ホームページにアップしていきますので最新情報をホームページで確認して下さい。

お問合せ先：神奈川県立保健福祉大学 リハビリテーション学科
理学療法専攻 末政 友佳子
E-mail：suemasa-dsi@kuhs.ac.jp

臨床実習教育部主催 研修会のご案内

テーマ：ケーススタディ 実習指導

内容：本研修会では、臨床実習指導を実際におこなわれている先生方に講師をお願いし、それぞれの施設で展開されている臨床実習指導についてご紹介いただきます。各先生方から、整形外科疾患、脳血管障害疾患等(急性期・回復期)の症例を呈示していただき、実習指導をすすめる際の準備や学生指導のポイント、施設の特徴をいかした実習の進め方など、実際の指導内容をお話していただく予定です。

今回の研修会はワークショップ形式をとり、教育現場・臨床現場の両方の立場から多くの意見を交換できる場としたいと思います。多数のご参加をお待ちしております。

日時：平成25年9月1日(日)
13:00～16:00(受付開始12:30～)

会場：町田市文化交流センター(プラザ町田ビル：5階)
(JR横浜線「町田駅」町田ターミナル口直結 小田急線「町田駅」西口から徒歩5分)

講師：伊藤 智一 先生(北新横浜整形外科・外科)
上杉 上 先生(横浜市立大学附属病院)
杉浦 雅美 先生(茅ヶ崎新北陵病院)

受講料：無料

申込方法：参加登録はオンライン登録といたします。
神奈川県理学療法士会ウェブサイト(<http://www.pt-kanagawa.or.jp>) [会員の方へ]→[講習会・研修会・イベント情報]より、「平成25年度臨床実習教育部主催研修会」にお進みの上、指示に従って登録して下さい。
*応募多数の場合は、60名程度に達した時点で締め切らせていただきます。

*本研修会は、新人教育プログラム履修中の会員においては「理学療法における人材の育成」の中から「E-1臨床実習指導方法論」1単位が、専門部会に所属されている会員においては、公益社団法人日本理学療法士協会の履修ポイント基準・大項目「2.講習会・研修会の受講」の「5)都道府県士会主催の講習会・研修会」に基づき、履修ポイント(10ポイント)が取得できます。

登録期間：平成25年7月1日(月)～平成25年8月16日(金)

お問合せ先：E-mail: rinsho-jisshu@pt-kanagawa.or.jp
臨床実習教育部長 坂本 美喜(北里大学医療衛生学部)



平成25年度 会員ライフサポート部主催 託児室付き研修会 & 交流会のお知らせ

毎回ご好評をいただいている、田中一秀先生の「脳画像のみかた」を引き続きやさしく教えていただきます。今回は「画像と臨床応用」という内容となっております。前回、聞きたかったけど聞けなかった、とお嘆きだった方にも必見です。託児室完備ですので、小さなお子様連れでも安心して参加できます。

<研修会> 13:30～15:30

内 容：今さら聞けないシリーズ4

「脳画像のみかた③ ～画像と臨床応用～」

講 師：田中 一秀 先生（株）AwesomeLife 代表）

<交流会> 15:30～16:30

テーマ：働き続けるために必要なことって何だろう

日頃、頑張っていること・工夫していること・困っていることなどを皆で気楽に話し合ひましょう。

日 時：平成25年 **10月13日**（日）

13:30～16:30

会 場：ウィリング横浜 12階

京浜急行／市営地下鉄「上大岡駅下車」徒歩3分

横浜市港南区上大岡西 1-6-1 ゆめおおおかオフィスタ

ワー内 TEL045-847-6666（代）

参加資格：会員（他県士会会員・休会会員を含む）・学生
申し込み多数の場合は本会会員を優先いたします。

受講料：無料

定 員：50名

託児室利用費：無料

託児室定員：10名（0歳～就学前）先着順です

託児室委託：（株）タスクフォース

申込方法：参加登録はオンライン登録をお願いします。神奈川県理学療法士ウェブサイトの[会員の方へ]→[講習会・研修会・イベント情報]から登録してください。

*託児室の利用は下記の問い合わせ先までメールにて別途申し込みが必要です。

申込期間：平成25年7月22日～平成25年9月29日

お問合せ先：（公社）神奈川県理学療法士会

会員ライフサポート部 寺尾 詩子

E-mail：lifesupport@pt-kanagawa.or.jp

*新人教育・生涯学習プログラムの該当ポイントはホームページでご確認ください。

平成25年度 発達障害領域講習会のお知らせ 神奈川県理学療法士会学術講習部

テ ー マ：発達障害児の理学療法

内 容：近年、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）、広汎性発達障害（PDD）などのため多様なニーズを持つ子どもが増える傾向にあります。これらの発達障害児は社会性の問題とともに、姿勢や運動にもつまずきを抱えており、運動面の課題に対して理学療法士が関与することが増えています。また、低出生体重児として生まれた子どもが抱える運動面の不器用さを中心に、園や学校でのちよっと気になる様子に対しても理学療法士による介入が求められています。

本講習会では発達障害児の運動特性の理解、理学療法評価による苦手な運動要素の分析、運動や動作が不器用な児に対する協調性や俊敏性を向上させるトレーニングや動きづくりの具体的な指導について、この分野で積極的に実践されている愛媛県立子ども療育センターの楠孝文先生と水本憲枝先生を講師に迎えて、講義と実技を行います。

日 時：平成25年 **10月20日**（日）

10:00～15:00（受付開始9:30～）

会 場：未定

講 師：楠孝文先生 水本憲枝先生

（愛媛県立子ども療育センター 機能訓練グループ）

受講料：会員2,000円 他士会員5,000円

申込方法：参加登録はオンライン登録をお願いします。神奈川県理学療法士会ウェブサイトの[会員の方へ]→[講習会・研修会・イベント情報]から登録して下さい。

申込受付期間：平成25年8月20日（火）～10月11日（金）

定 員：40名（定員に達した時点で締め切りとなります）

対 象：県士会員、協会員

単位認定：履修ポイントについては現在詳細を検討中です。判明次第、本会ホームページにアップしてまいります。最新情報は本会ホームページで確認して下さい。

そ の 他：当日、実技を行う予定です。動きやすい服装のご用意をお願いします。

お問合せ先：社会福祉法人慈恵療育会 相模原療育園

診療部 樋口 滋

E-mail：s-reha@jikeiryokukai.or.jp

お問い合わせの際は件名を『発達障害領域講習会の件』として下さい。

●県士会主催

研修会・講習会



訪問リハビリテーションに関するお知らせ①

今後、本会では次期介護保険制度改定に向け、訪問リハビリテーションに関連する情報を随時発信していきます。今回は日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・日本語聴覚士協会によるリハビリテーション3団体協議会に設置された全国訪問リハビリテーション振興委員会からの情報提供についてお知らせします。

介護保険部 訪問リハビリテーション係

「訪問リハビリテーション管理者養成研修会」への受講のすすめ

PT・OT・STの三協会ではより質の高い訪問リハビリテーションサービスを普及促進する目的で、平成22年度より共通の指標を基に47都道府県において「訪問リハビリテーション実務者研修会」を開催してきました。また、訪問リハビリテーションが制度化された際の管理者養成目的にて「訪問リハビリテーション管理者研修会」が開催されてきています。今後、各研修会の関係性をより明確なものとしていくため、平成26年度より研修体系が見直される予定です。

その一環として、平成27年の介護保険改定により訪問リハビリテーションが制度化された場合、その管理者要件として、三協会は「訪問リハビリテーション管理者養成研修会」全過程（STEP1～3）の履修が修了していることとしています。

今年度開催予定は、STEP1：2回（東京・大阪）、STEP2：1回（東京）、STEP3：1回（東京）となっており、開催頻度の都合上、管理者養成研修会の修了までにおよそ2年程度かかります。また、平成26年度から履修要件が、各県にて開催されている「訪問リハビリテーション実務者研修会」修了者、臨床経験4年目以上と変更されます。

次期介護保険制度改定である平成27年度までに全ての研修課程を修了するためには、計画的に履修する必要があり、今回のSTEP1の受講をお勧めします。

研修会開催については、**本会ホームページまたは日本理学療法士協会ホームページ**の開催予定をご参考ください。

PT・OT・ST3協会主催『訪問リハビリテーション管理者養成研修会』平成25年度開催日程のご案内

※旧：訪問リハビリテーション管理者研修会 → 新：訪問リハビリテーション管理者養成研修会へ今年度より名称変更

★STEP1開催日程

第10回訪問リハビリテーション管理者養成研修会STEP1～東京会場～

開催日：平成25年7月13日（土）～7月15日（月・祝）
会場：日本青年館ホテル3階 国際ホール（東京都新宿区霞ヶ丘町7番1号）

受付開始日時：平成25年5月13日（月）正午＝お昼12時より受付開始

第11回訪問リハビリテーション管理者養成研修会STEP1～大阪会場～

開催日：平成25年9月14日（土）～9月16日（月・祝）
会場：CIVI北梅田研修センター5階 ホール（大阪市北区芝田2丁目7番18号 オーエックス梅田ビル新館5階）

受付開始日時：平成25年7月16日（火）正午＝お昼12時より受付開始

★STEP2開催日程

第7回訪問リハビリテーション管理者養成研修会STEP2～東京会場～

開催日：平成25年11月2日（土）～11月4日（月・祝）
会場：社団法人日本交通協会 大会議室（東京都千代田区丸の内三丁目4番1号 新国際ビル9階）

受付開始日時：平成25年9月2日（月）正午＝お昼12時より受付開始
※STEP1修了者を対象

★STEP3開催日程

第5回訪問リハビリテーション管理者養成研修会STEP3～東京会場～

開催日：平成26年1月17日（金）～1月19日（日）
会場：社団法人日本交通協会 大会議室（東京都千代田区丸の内三丁目4番1号 新国際ビル9階）

受付開始日時：平成25年11月18日（月）正午＝お昼12時より受付開始
※STEP2修了者を対象

★フォローアップ（仮名称）開催日程

第2回訪問リハビリテーション管理者フォローアップ（仮名称）研修会～東京会場～

開催日：平成26年2月15日（土）
会場：社団法人日本交通協会 大会議室（東京都千代田区丸の内三丁目4番1号 新国際ビル9階）

受付開始日時：平成25年12月16日（月）正午＝お昼12時より受付開始
※STEP3修了者を対象

【お申し込み】

受付開始日時以降からお申し込みをお受け致します。
事務局代行 合同会社gene（ジーン）ホームページよりお申し込みください。

（www.gene-llc.jpもしくは合同会社geneで検索）入力フォーム（<https://fs222.formasp.jp/d627/form2/>）又は下記QRコードからお申し込み可能。

【受講料】

STEP1～3各20,000円、フォローアップ10,000円（事前振込によるお支払いが必要）

※希望者は懇親会費（5,000円）及び、昼食お弁当代（各日1,000円）が別途必要になります。

【詳細内容】

各研修会の詳細内容が決定次第、各協会及び合同会社geneホームページにて掲示いたします。

【事務局】

一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会
〒273-0125 千葉県鎌ヶ谷市初富本町1-2-6-803号
TEL/FAX：047-444-3966

【お問合せ】

事務局代行 合同会社gene（ジーン）担当：岡本 義之
〒462-0059 名古屋市中区駒止町二丁目52番地 リバールテ黒川1階A号室

HP：www.gene-llc.jp

E-mail：oka@gene-llc.jp

TEL：052-911-2800 FAX：052-911-2803

※上記研修会に関するお問い合わせは、合同会社geneが一括して受け付けております。



●他団体

研修会・講習会



IPA 主催 PNF I

日時：2013年7月12日(金)～14日(日) 9:00～18:00
2013年7月15日(月) 9:00～15:00

会場：ワールドポーターズ 会議室 1+2 (6階)

テーマ：IPA では障害を、Mechanical (機械的・構造的)、Neuromuscular (神経筋)、Motor control (運動制御) という3つの要素に分けて捉え、評価、治療を進めていきます。軟部組織、関節、内臓、神経血管系における機械的・構造的機能障害に対してセラピストが徒手的に mobilization を行うのみではなく、患者の active な運動という治療への参加を用いた Functional Mobilization を用います。

内容：PNFI では、神経筋、軟部組織、関節間の相互関係に対して、運動パターンの解析と神経筋コントロールの

特長に基づいた動的で機能的な評価と治療アプローチを提唱します。

本コースは、肩甲帯、骨盤帯、体幹パターンから荷重位での姿勢、動作へと発展していきます。中枢疾患や運動器疾患のリハビリテーションにおける効果的な運動パターンの確立と徒手療法後のテクニックに焦点をあてています。

講師：Vicky Johnson
受講料：105,000円
主催団体名：NPO 法人 IPA JAPAN
定員：18名
お問合せ先：info@ipajapan.com

PT・OTのためのフェルデンクライス・メソッド講習会 部位別アプローチ『頸椎編』

日時：1.平成25年7月7日(日) 10時～16時
2.平成25年9月8日(日) 10時～16時(同内容)

会場：国立精神・神経医療研究センター病院(旧武蔵病院/小平市)

テーマ：全身のアライメントを学ぶ際、頸椎への着目は最もよい方法です。座位・立位バランスの改善には、体幹や下肢にとらわれず、むしろ遠位からのアプローチが効果的なこともあります。今回も、参加者全員に講師陣の手技による身体感覚の変化を体験してもらいます。

受講料：6,000円(事前振り込み)

講師：田口 順子 (PT/フェルデンクライス・メソッド国際公認資格) 他

主催団体名：PT/OTフェルデン研究会

定員：40名(基本的に先着順。応募多数の場合は抽選)

申し込み先：E-mail (ptotfelden@ybb.ne.jp 吉田宛) で 1.氏名 2.希望日 3.所属(勤務先・住所・TEL) 4.メールアドレス 5.職種 6.経験年数を記載の上お申し込み下さい。(パソコンのみ。携帯メール不可)

お問合せ先：ptotfelden@ybb.ne.jp 吉田宛

2013年度神奈川県活動分析研究大会 演題募集

日時：2013年12月8日(日)

会場：横浜市立大学附属病院

募集対象：神奈川県内に勤務するPT・OT・ST

募集条件：2013年度神奈川県活動分析研究大会に参加できる方

応募方法：下記メールアドレスに必要事項を入力し送信して下さい。

1週間以内にメールにて折り返し連絡致します。

件名：「2013年度神奈川県活動分析演題応募」

1.氏名、2.職種、3.所属施設名、4.経験年数
5.活動分析研究会への発表経験の有無
6.連絡先メールアドレス(携帯)
7.連絡先メールアドレス(PC)

主催団体名：神奈川県活動分析研究会

活動分析研究会 <http://www.katsubun.com/>

注意事項：ご不明な点などはお気軽に事務局までご連絡下さい。尚、大会の詳細はHPに後日掲載されます。

神奈川県活動分析研究会ホームページ
<https://sites.google.com/site/kanagawakatsubun/>

お問合せ先：神奈川県活動分析研究会事務局
茅ヶ崎新北陵病院 リハビリテーション科
作業療法士 佐藤 靖伸
理学療法士 橋本 賢次郎
TEL(代表)：0467-53-4111(17:15以降)
E-mail：k_katsubun@yahoo.co.jp

第21回日本物理療学会学術大会開催と演題募集のご案内

テーマ：次代の物理療法 一時代を拓く戦略一

日時：平成25年10月19日～20日

会場：神奈川県立保健福祉大学

内容：
特別講演…畿央大学 森岡周氏
「ペインリハビリテーションー臨床と神経科学の融合ー」
早稲田大学 村岡慶裕氏
「ニューロリハを切り拓く 神経促進バイオフィードバック装置 IVES」
シンポジウム…戦略的物理療法
「骨格筋への経皮的電気刺激は、血糖値を低下させる」
「低出力超音波パルス(LIPUS)は、軟骨破壊因子を

抑制する」
「温熱刺激による骨格筋肥大と生理学的意義」

演題発表…一般演題、研究助成演題

参加費：会 員 (2日参加 5,000円、1日参加 3,000円)
会 員 外 (2日参加 8,000円、1日参加 6,000円)
学 生 無 料

会 員：日本物理療学会会員、日本理学療法士協会会員

主催団体名：日本物理療学会

お問合せ先：大会事務局
神奈川県立保健福祉大学
リハビリテーション学科理学療法専攻内 鈴木 智高
Tel：046-828-2791 E-mail：suzuki-tm@kuhs.ac.jp

information



日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様にお願いします。

紛失・破損等による再発行は、**有料 (500円)** となりますので、ご注意ください。

*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

(公社) 神奈川県理学療法士会
事務局長 山口 泰成

楽天カードへの手続きはお済みですか？

☆協会指定会費決済クレジットカードが楽天へ変わりました

☆楽天カードの主な特徴と機能

- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
- 会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
- 書籍購入（一部割引）等が可能となります。

*詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

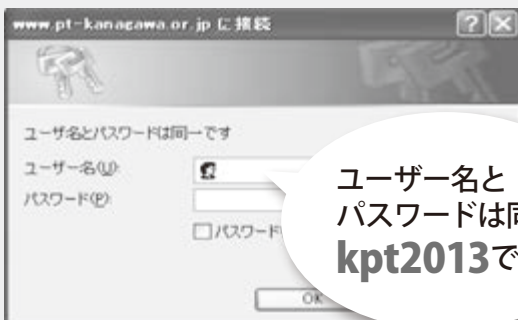
～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。

*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

(公社) 神奈川県理学療法士会
事務局長 山口 泰成

アクセス認証が必要です！



本会ホームページの会員専用ページの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります

ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部

マックス ユニバーサルサイクル

Coolcle-S クール

安心して乗れる
シニアのための自転車、**できました。**

4つのタイヤで倒れにくく、みんな安心… **気**持ちも爽やか、からだも活き活き…
ちょっと遠くまで、らくらく出かけ… **ク**ールSに乗って、楽しく介護予防…



MAX

希望小売価格
¥97,650(税別)

●お問い合わせは… **マックス株式会社** HCR営業G Home Care & Rehabilitation 〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6 TEL.(03)3669-0713 FAX.(03)5695-7915

マックス
www.max-ltd.co.jp



Daiwa House
大和ハウスグループ

ロボットスーツ HAL®福祉用は、
全国で約 250 台が稼動中。

デモンストレーション好評受付中！

ご興味のある施設様は、「この冊子を見た」と下記まで、お問い合わせください。



www.daiwahouse.co.jp/robot/

0120-934-576

大和ハウス工業株式会社 東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号
ヒューマン・ケア事業推進室 ロボット事業推進室

SP-i

義肢・装具・整形靴・特殊靴など

製作から修理、調整等

湘南義肢研究所

横須賀市小川町27 TEL:046-822-6722

http://www.sp-i.net/



理事会報告

社団法人 神奈川県理学療法士会 2012年度第12回理事会

I. 日 時：2013年3月19日（火） 19：00～21：00

II. 場 所：神奈川県理学療法士会事務所

III. 理事定数：15名

出席理事：秋田 裕、隆島研吾、炭 孝昭、林 克郎、佐藤史子、福島 努、坪内敬典、惣田 洋、相川浩一、久保雅昭、露木昭彰

欠席理事：山口泰成、大槻かおる、小山理恵子、内田賢一

出席監事：井上 保、安藤徳彦

出席者：第30回神奈川県理学療法士学会長 今吉 晃
（公社）日本理学療法士協会理事 山本尚司

出席事務職員：小林和美

IV. 議長団選任

議長：秋田 裕

副議長、議事録署名人は出席理事より下記のように互選にて選出された。

副議長：林 克郎

議事録署名人：隆島研吾、炭 孝昭

V. 配布資料

- ・2012年度第12回理事会議事案
- ・2012年度第11回理事会議事録
- ・理事会資料
- ・事務局理事会資料
- ・学術局理事会資料
- ・社会局理事会資料
- ・その他の委員会資料
- ・認定書（公益社団法人）
- ・2013年度（平成25年度）会議等日程（案08）
- ・（公社）神奈川県理学療法士会理事会運営規定（案）
- ・公益社団法人移行記念事業 趣意書（案）と参加者名簿
- ・公印管理規程

VI. 回覧資料

- ・シンボルマーク応募原稿（2名応募）

VII. 議事内容

1. 会長挨拶

- ・協会役員選挙の結果報告がされた。
7月21日には参議院選挙が行われ、6月30日には本会役員選挙も行われることが確認された。
- ・今回の理事会が「社団法人」最後の理事会であることが確認された。
- ・会員からの意見・提案が届くよう要望があり、広く取られる方策を模索していることが報告された。

2. 2012年度第11回理事会議事録承認

2012年度第11回理事会議事録が一部修正のもと承認された。

3. 各局部・委員会報告

(1) 事務局

①会員異動報告、入会者の承認

前回理事会からの入会予定者0名、転入25名、転出13名、

復会0名、休会21名、退会6名、県内異動80名、2013年3月19日現在での会員数は3,679名であることが報告された。

②各種団体よりの依頼事項の件

- ・神奈川県保険医協会より「第22回在宅医療・介護セミナー」で後援・PRのお願いの依頼があり、メールによる仮承認が承認された。
- ・神奈川県糖尿病療養指導研究会より4月19日に会議室使用の申請があり承認された。
- ・アールア20管理組合より4月21日に会議室使用の申請があり承認された。
- ・日本バイオフィードバック学会より「第41回バイオフィードバック学会学術総会ご案内」の会員への周知についての依頼があり承認された。
- ・日本物理療法学会より「第21回日本物理療法学会学術大会で後援と会員周知について」の依頼があり承認された。
- ・横浜市更生相談所より横浜市障害程度区分認定審査会委員就任についての依頼があり6名を推薦することが承認された。
- ・鎌倉市長より「鎌倉市障害者介護給付費等の支給に関する審査会委員の再任及び推薦について」の依頼があり黒水俊吾氏を推薦することが承認された。依頼文は本会様式での再提出して頂くことになった。

③各部事業報告

- ・林副会長より、公益社団法人神奈川県理学療法士会理事運営規定（案）が提示され討議された。
- ・事務局会議等スケジュールが報告され、年間のスケジュールが確認された。
- ・湘南ふれあい学園からの依頼文は、次回理事会で審議することが確認された。
- ・ウェブサイト管理部
HPのデザインについての報告があった。
スマートフォン・携帯電話でも対応が可能。
HPのリニューアルに伴うサーバー停止日時・注意点の連絡があり確認された。
- ・広報部
インタビュー 3回分を掲載し、支払い後「エスケープランニング」との契約を終了すると報告された。

④その他

- ・2013年度会議等日程について報告があり、一部変更と「主な検討議題」の内容を明記する事で承認された。
- ・4月20日（土）業務運営会議の中で、公益社団法人の移行について井上監事よりガイダンスを行うことが報告された。
事務手続きのオリエンテーションも行われることが報告された。
- ・神奈川県知事より認定書（公益社団法人）が届いたこ



とが報告された。

- ・第49回学術大会準備報告が行われることが報告された。
- ・林副会長より、6月の選挙まで現行理事が担当している部をそのまま継続したいとの報告があり承認された。
- ・公益社団法人神奈川県理学療法士会公印管理規程について、公印の規格変更のため修正後に承認された。
- ・公益社団法人移行記念事業趣意書（案）が提示され確認された。
- ・備品等は、事務局で一括管理をする事が確認された。

(2) 学術局

①各部事業報告

- ・学術講習部
 - 第4回講習会（受講者44名）が2月17日（日）に横浜市総合リハビリテーションセンターで開催したことが報告された。
 - 連絡なしの欠席者が、2名あった事が合わせて報告された。
 - 2013年度学術講習部主催講習会の日程が決定したと報告された。
 - 日程内容は下記の通りである。
 - 1) 内部障害領域講習会 7月28日（日）
 - ・摂食嚥下と呼吸
 - 2) リーダー研修会 8月18日（日）
 - ・応用行動分析学
 - 3) 小児領域講習会 10月20日（日）
 - ・学習障害
 - 4) 神経系領域講習会 11月10日（日）
 - ・脳科学と歩行
 - 5) 運動器領域講習会 2014年1月26日（日）
 - ・足底板
- ・来年度部員増員について
 - 会員数増加に伴い、部員を増員する予定であることが報告された。
- ・生涯学習部
 - 第4回新プロ研修会（事前登録者190名）が3月24日（日）に県立大学で開催される予定であると報告された。
- ・学術誌編集部
 - 会報の発送について、3月初めに完了したと報告された。
 - 次年度から新たな試みとして、学会発表の中から興味あるものは論文発表へ対応できるように学術誌編集部と査読委員会で行っていく予定であると報告された。
 - 詳細は、次回理事会で報告の予定
- ・学術大会部
 - 第30回神奈川県理学療法士学会について、今吉学会長より、参加者数・収支関係等が速報で報告された。
 - 1) 参加者数の詳細

2) 収支関係

3) 学会企画・プログラム等

「はまっ子どうし」の売上金を赤十字へ寄付

4) 広報

5) その他

カクテルパーティの残金も赤十字へ寄付

第31回学会へ今月中に引継

学会で使用する備品は、リストを作成し事務局で保管

・学術サークル

- 1) 第30回神奈川県理学療法士学会にて、14サークルが活動報告を行ったと報告があった。
- 2) 「学術サークル助成の公募要項」の変更が提案され、一部修正して承認された。
- 25年度より運用予定
- 3) 県委託事業「平成24年度理学療法士生涯教育推進事業」の事業報告を神奈川県に対し行ったと報告された。
- 4) 「平成25年度生涯学習担当者会議」が4月27日（土）に、日本理学療法士協会で開催され、内田理事が出席予定であると報告された。

②その他

・研修会関連

- 1) 「研修会・講習会運営規定（案）」提案し承認された。
- 25年度より運用予定
- 2) 「研修用PHS運用規定」について報告があり討議された。

(3) 社会局

①医療専門職連合会からの報告

- ・栄養士会より、4月11日（木）「市民公開セミナー」の開催案内を本会HPへの掲載依頼があった事が報告され承認された。
- 本会HPの情報掲載依頼より手続きをすることが確認された。
- ・放射技師会より、6月30日（日）開催される「がん患者のための相談コーナー、がん検診啓発コーナー」へ本会会員の派遣依頼が内々にあり討議の上、公募することとなった。
- 派遣者から内諾を頂いた場合は、別途、会員推薦依頼書に記入してもらおう事を確認した。
- 推薦する要件を詳しく確認する。

②各部事業報告

- ・会員ライフサポート部より復職支援実務研修について下記の報告があった。
- 1) 復職支援実務研修に1名の参加希望者あり現在研修中。
- 2) 2013年度の継続事業として、ニュース、ホームページ、PT・OT・STネットへの広報を更新中。

理事会報告



- 3) 休会者実態調査
 - 4) 第48回日本理学療法学会大会への演題が採択された。
休会者、自宅会員の更なる問題点の把握ができる調査を進める。
 - 5) その他報告
新規に部員1名増員された。
2013年度の研修会&交流会の日程が決定した。
第49回日本理学療法学会大会で情報提供できる場を企画開始。
 - ・スポーツ支援・健康増進部
 - 1) 1月26日(土) 関東甲信越メディカルサポート連絡会議が行われた事が報告された。
 - 2) 3月3日(日) 第30回神奈川県理学療法士学会で発表したことが報告された。
 - 3) 障害者スポーツ支援に向けた視察が行われた事をニュースに掲載したことが報告された。
 - ・介護保険部
 - 1) 県訪問リハビリテーション振興委員会準備委員会(仮称)について審議された。
フレームを作成して、再度提案することが確認された。
 - 2) 地域研修会 in 神奈川が12月1、2日に横浜リハビリテーション専門学校で行われた事が報告された。
 - ・中途障害支援部
 - 1) 中途障害に対する転倒予防事業を2月24日(日)に鶴巻温泉病院で開催されたことが報告された。
 - 2) 障害者自立支援法に従事する理学療法士の支援事業を3月28日(木)に鶴巻温泉病院で行われることが報告された。
 - ・公益事業推進部
 - 1) 2012年度予算執行状況から、部内予算流用の希望があり審議された。
繰越金は次年度に繰入れ、必要な什器備品購入は次年度に再度起案して審議することとなった。
 - 2) 協会より「平成25年度理学療法週間用広報物品」についてのアンケートの依頼があり、ポスター・リーフレット・理学療法士ガイドの必要数について回答したことが報告された。
 - 3) 「ヨッテク」への協賛と出展する事が報告された。
 - ・その他
 - 2012年度「提案型管理者育成を目指したワークショップ」について2月10、11日に行われた「提案型管理者育成を目指したワークショップ」に参加した前田 玲氏より報告された。手塚純一氏からも報告書が提出された。
上記に関して、受講したことを本会の中で会員の方への還元出来る行動をしてほしい。ニュース等に報告書の掲載をする等の発言がされた。
- (4) その他
- ・組織協会委員会
2012年度の事業報告がされた。
 - 1) サークル訪問
 - 2) 研修会
 - 3) 広報活動
 - 4) 会議
 - 5) 継続議題
 - ・山口かずゆき氏の選挙対応についての報告と協力依頼があった。

以上



「がん」をはじめとする生活習慣病や交通事故によるケガなど心配は尽きませんが、万一のための備えがあれば安心です。

**ご自身はもちろん、ご家族の支えのためにも
一生涯の医療保障をご準備ください。**

(デイズには一部更新型の保障があります)

**生きるための
がん保険** デイズ

もっと頼れる医療保険
新EVER
エヴァー

健康に不安がある人も入りやすい医療保険
もっとやさしい
EVER
エヴァー

※詳細につきましては、パンフレット(契約概要)をご覧ください。



■募集代理店

国際保険株式会社

〒151-0051
渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 DSビル4F

TEL : 0120-5931-98
FAX : 0120-5544-23

■引受保険会社

Affac アフラック 首都圏総合支社
(アメリカンファミリー生命保険会社)

〒160-0023 新宿区西新宿1-23-7 新宿ファースト17F
TEL : 03-3344-1580 FAX : 03-3344-2028

AF271-2013-0054 3月19日(150319)

「3年目の課題」

ちよん

私は現在、理学療法士になり3年目を迎える。ちょうど1年前に『ちよんと』の執筆の依頼を受けてしまったが書きたいことはっきりとしないまま1年間が経ってしまった。

2年目から外来リハの担当にもなり、入院患者のみであった1年目より担当する患者数が格段に多くなった。外来リハという週に数回しか関われない難しさ、人（特に患者様）との接し方の難しさを実感しながら、日々の臨床業務を行っている。特に運動の指導方法に難しさを感じる事が多く、私がこの2年間で経験し感じていることを文章にさせていこうと思う。

急性期から回復期まで行なっている現在の職場に入職して3年目になるが、1年目は患者様の評価と治療プログラム立案で、四苦八苦していた記憶がある。2年目は自分の行なっている治療プログラムが適切にできているのかという部分に注意がいくようになり、ぱっと見た感じは同じような運動をしているが、私が行なっていた運動と実際に患者が行なっている運動が異なっていることが多くあることに気づくことができた。それはクアドセティングやブリッジ、立ち上がり練習といったどの書籍にも書かれ、学生時代から知っている運動ですら異なっていることがあった。同じような運動でも行なっていた運動や筋活動が得られていなければ、何回やっても運動の効果は得られないことはわかっている。どうすれば意図した運動を行なってもらえるのか、どうすれば意図した運動を継続できるのか。これが私にとって難しい課題であった。

まず、運動に対して説明や指示の入れ方について考える必要がある。最も伝わりやすい方法を選択する必要があるが、どのような方法を用いて伝えるかは人それぞれである。ポイントを細かく説明する必要がある人もいれば、大雑把な説明のほうが意図したことができる場合もある。私は提示した運動を患者がどう感じるかによって口頭指示する内容を変えるようにしている。例えば、クアドセティングであれば『膝の裏を押し付ける・お皿を引き寄せる・膝にシワをよせる・内側広筋の部分に力が入れる』と様々な声かけの仕方がある。立ち上がり動作を用いた運動にしても、口頭指示は極力減らし誘導により意図した動作を行う場合もあれば、患者様の感覚を利用した口頭指示にする場合もある。理解しているかどうかを患者様の反応を見ながら行うことが多い。

そして、意図した運動が楽に行なえているかどうかである。負荷が強すぎる場合は意図した運動は行なえず、必ず

代償運動が生じ患者様が最も動きやすい筋活動パターンでの運動を強化することになる。この代償運動を許してしまうと課題とした動作・運動が楽に行えないため、この運動を行うことが苦痛に感じてしまう。リハビリに意欲的な患者様の場合は辛いけどリハビリだからと言って続けることもあるが、大抵の患者様はすぐに辞めてしまう。私は、患者様が自ら『こう動いたら楽にできるとか、ここに力が入るようにすると体が楽になる、軽くなる。』といった『気づきを促すこと』が重要であると考え。自主トレーニングとして行いたい運動ほど、適切に行えているか確認をする必要があると思う。

最近、術後1ヶ月経って当院の外来リハビリに来た方がいるが、術後1ヶ月間、どんなことをやってきたのかと思わせる症例に出会った。私自身、まだまだ平凡な理学療法士であるがそう思ってしまった。歩行訓練を行ってどうにか歩けるようになったため、術前と同様の歩容のまま退院したのだらうと思った。さらにホームエクササイズがほとんど身につけていなかった。関節可動域制限が退院後にさらに改善した症例をいくつかみてきたが、この方の場合、現状の動作パターンでは術部の関節運動をすることが少ないため、将来的にも改善するようには思えなかった。急性期病院では、術後のフォローを外来で実施することが多い中で自主トレーニングの指導方法を慎重に考える必要があるのではないかと思う。どのような運動が適切か、継続していくことで動作を改善することができるプログラムを個別に理解し、実現できるまで指導する必要がある。

自主トレーニング指導の重要性は入職した1年目に職場の先輩から教わったことであった。訓練時間以外の時間をどう有効に使うのか、普段の動作に自主トレーニングの要素を入れることで高頻度に行なってもらえること。入院中の患者も自主トレーニングが重要なのは同じである。どんなに理学療法士が指導したところで、患者様に内容が伝わり理解し、実践できて、患者様が効果を実感できなければ継続されない。伝わっているかを判断する基準は人それぞれであるが、私は患者様からのフィードバックや『こう動いたら楽にできるとか、ここに力が入るようにすると体が楽になる、軽くなる。』といった『気づき』を手がかりにしていこうと思っている。気づくことができれば、人は変わるのだと思う。

当院における外来リハビリでは高齢者であることが多く、自宅でのリハビリテーションに積極的でない方が多い。自主トレーニングを書面で指導しているが、実際にどの程度実施しているかが不透明な部分である。そのため、高齢者の外来リハビリテーションにおけるホームエクササイズについて指導方法の検討を今後の課題とする。

湯河原厚生年金病院 宮澤 僚

解剖 こぼれ話

ホルモンとフェロモン は関係ある？

前回の"こぼれ話"でホルモンのことに少しふれましたが、このホルモンとフェロモンは名前が似ていることからよく混同する人も多いようです。しかし、この二つは

無関係の別物です。ホルモンとは皆さんもご存じのとおり個体が作り出し、体内の特定の細胞に作用して生命活動を維持するものです。このホルモンの名前は、ギリシャ語の「刺激する」「呼び覚ます」に由来し、数は70種類以上もあります。一つ例にとると、女性ホルモンは女性らしい体をつくるだけでなく、神経細胞の保護や心臓機能の正常化、血管の強化、動脈硬化や認知予防などにも働いています。恋愛中の女性が綺麗に見えるのは、女性ホルモンの分泌が活発になることで、

血行が良くなり、プロラクチンが肌にツヤとハリを与えるためと言われています。

これに対してフェロモンは、個体から体外に放出され、そのにおいを受け取った同種の別の個体が反応するものです。平たく言えば、コミュニケーションの手段になるもので、動物では警告や道標、集合などを知らせる働きがあります。人間にもフェロモンが存在すると言われています。ある実験で、何人かの女性が共同生活をすると、しだいに月経周期が同じになる現象が起こるといわれます。この原因は女性同士が互いにフェロモンを出し合うためと考えられています。

つまり、ホルモンは体内で別の細胞に作用し、恒常性をうながすもので、フェロモンは体外で別の個体に作用するという違いがあるのです。しかし、どちらも我々の眼では見ないのは共通していますね！

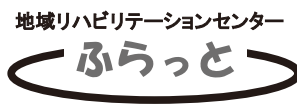
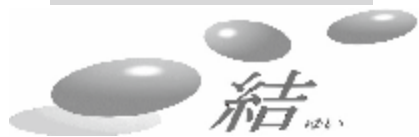
神奈川県立保健福祉大学 解剖学 柴田 昌和
昭和大大学保健医療学部 解剖学 伊藤 純治

リハビリテーションマインドで在宅生活をトータルに支える 足柄リハビリテーショングループ

24時間看護
個別リハビリ

介護デイサービス
障害児・者デイサービス

介護デイサービス
放課後等デイサービス



結(ゆい)訪問看護ステーション
小田原市堀之内194-4 0465(39)3700

地域リハビリテーションセンター ふうっと
小田原市堀之内253-1 0465(39)2234

デイサービスセンター Well(ウェル)
小田原市久野469 0465(43)6171

PT・OT・ST・看護師 募集中！ TEL(39)3730 <http://business4.plala.or.jp/ashiriha/>

あなたのニーズを

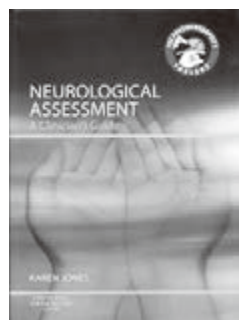
‘かたち’ にします

義肢・装具・車いす・座位保持装置etc



<http://www.kimura-gishi.co.jp/>

(有)木村義肢工作研究所
〒247-0006神奈川県横浜市栄区笠間3丁目40番5号
TEL 045-892-5424 FAX 045-894-2560



著者 ▶ Karen Jones
TITLE ▶
**Neurological assessment.
A clinician's guide**

英国の、神経系評価法に関するコンパクトな入門書(2011)である。神経発達のアプローチの伝統といえは英国を想起するし、そして反射機構の基礎といえ、もちろん英国シェリントン卿である。そんな英国では、神経系の理学療法評価法(その歴史的背景も含めて)をどのように教えているのだろうか。渡英する間もないのでとりあえずさっとななめ読みしてみた。

- 第一部：病理(要点) = 約30ページ
- 第二部：機能神経解剖 = 約80ページ
- 第三部：臨床的評価 = 約210ページ

よくある評価法のHowToモノかな〜と甘くみていた自分を恥じる。第二部にある「大脳皮質」の機能については10ページほどで要約されているが、古典(ホムンクルス)から、昨今の脳科学で明らかになってきた部位別の機能一覧表まで、筆者の「基礎をきちんと伝えたい」という想いがよく表れている。また、第三部では19の基本的な検査測定法が初心者むけに説明されている。感覚検査やROM測定、筋力検査など、それぞれ15ページ前後での説明だから、詳細を網羅するような深さはないのだが、要点は整然と示されている。

とにかく、わかりやすく書かれていることに感心する。この記述の分かりやすさを分析してみるに、次のような理解の流れに沿っているようだ。すなわち、まず理解の対象がそこに「ある」ことを示すことから始まる。そのことを示すために、言葉の定義が正確に記述されていることが特筆に値する。次に、そんなことが「ある」と理解出来れば、それが「なぜ」存在するかを理解する。要するに、対象に見出される意味に目を向ける。そして最後に、その存在を

「どのようにして」内面化するか、いわゆるHowToを理解するのである。箇条書きではなく、きちんと文章としてストーリーに仕上げるスタイルは、徹底的に本書全体を一貫している。決して、著者の好みでそのパターンが選ばれているのではないだろう。

例えば「Muscle tone」の検査について次の如く。「筋緊張とは一般的には効率よく運動するための背景的緊張状態をもたらす骨格筋の準備状態とみなされる(referred to as)。筋緊張は他動運動に対する抵抗によって定義される(defined by)、その筋線維の硬さ(stiffness)の一つの表現である」とある。更にこの定義では正常な筋緊張にも幅があることが注意書きとして添えられているが、これは実に分かりやすくも厳密な記述である。つまり、臨床的に理学療法士は筋緊張とその他諸々の身体的情報を合成することによって、単なる筋緊張以上の運動機能レベルの問題を含む筋の状態と「みなす」ことが多々あるが、筋緊張という言葉を使うときには「定義」に沿って把握して用いなさいと言っているのである。Toneをstiffnessだけに解消することのできない歴史に敬意を払っているのであり、もちろんtightnessという言葉もここには登場しない。その後「異常な筋緊張とは何か？」においてhypotoniaとhypertonia、spasticityとrigidityが整理されている。昨今はrigidityといっても伸張速度依存性であることが定説である。「なぜ筋緊張を評価する必要があるか？」では理学療法士が筋緊張に見出す意味が述べられる。「筋緊張をどのようにして評価するか?」「記録法」「分析法」そして「結果測定法」と続き、反射検査や姿勢分析などとの関連が示され、理学療法士が日常的に筋緊張の評価を内面化する方法が記述されている。

ここまで書いてもらえたのだから、これを読む学生は幸せものである。この書籍は遠くないうちに邦訳されるだろう。しかし、原典から神経系理学療法の伝統を感じ取りながら評価法を学ぶのも面白そうである。

筋肉で考える理学療法士が多かった時代に、心理・中枢神経系が構築するパターンの理解を模索する理学療法士たちがいた。心をこめて、あたかも学生たちに滑らかなハンドリングを施すかのように、シンプルかつ丁寧に、優しい先生一人の手によって書き上げられた秀逸なハンドブックである。

昭和大学保健医療学部理学療法学科
山崎 弘嗣



求人案内

せいの訪問看護ステーション横須賀

理学療法士募集

『私達は"在宅で自分らしく生きる"ことを支援します。』の理念で、0歳児から高齢者、障がいのある方、精神疾患等のご利用者様も数多く受け入れています。訪問看護師と連携を取り、ご利用者様の在宅生活を一緒に支えていきませんか？ご自宅でのリハビリで、リハビリ本来の意味・成果を実感できる職場だと思います。

募集人数：若干名

資格：理学療法士の有資格者

勤務内容：訪問エリアは横須賀西部地区、葉山方面で住宅地のほか、農業地帯も広がる緑豊かな地域です。当ステーションは、同フロアにケアプランセンター、ヘルパーステーションが併設されているため、常に連携を取り地域に密着した訪問看護ステーションです。訪問リハビリは未経験の方もお気軽にご相談下さい。

勤務時間：1日の勤務時間…7時間30分（拘束時間8時間30分・休憩60分）
1週間の勤務時間…40時間（交代制勤務あり）

休日：4週8休制

待遇：モデル賃金

※4大卒・社会人経験5年・時間外勤務月10時間
月収例：234,000円 年収例：3,747,000円
諸手当：通勤・住宅・時間外勤務、扶養手当ほか
昇給：年1回 賞与：年3回

勤務地：神奈川県横須賀市武3-39-1

応募方法：まずは法人本部人事課までお電話下さい。

連絡先：法人本部人事課 TEL：053-413-3290

担当：法人本部人事課 山口

メールアドレス：k_yamaguchi@sis.seirei.or.jp

URL：http://www.seirei.or.jp/hq/

グローバルシステムズ株式会社

理学療法士募集

【スポーツクラブ】

スポーツクラブ内のお客様へ向けた機能評価・リハビリ業務

【高齢者施設へのリハビリ】

老人ホーム・デイサービスをはじめとした高齢者施設での集団・個別リハビリ

【個人宅への訪問】

ご自宅に訪問して行なうリハビリ業務

募集人数：若干名

資格：理学療法士免許

勤務内容：訪問リハビリ

- ・老人ホーム
- ・個人宅
- ・スポーツクラブ

勤務時間：常勤：8：30～17：30（施設によって変動あり）
非常勤：相談の上、決定

休日：常勤のみ：シフト制（週休2日制）

待遇：■契約社員：25万円以上（交通費：最大5万円まで支給）

■業務委託：面接を行い、経験能力その他を考慮の上、当社規定により決定いたします。
交通費全額支給。

勤務地：神奈川県横浜～横須賀周辺

応募方法：履歴書（写真付）・職務経歴書をご郵送ください。

連絡先：グローバルシステムズ株式会社

〒108-0073 東京都港区三田3-4-9-501 リーラヒジリザカ

TEL：03-5442-7707 FAX：03-5442-7708

メールアドレス：recruit@g-sys.co.jp

担当：三瓶（さんぺい）

メールアドレス：recruit@g-sys.co.jp

URL：http://www.g-sys.co.jp/hc

Wheelchair for Seating



日本ウイール・チェア株式会社
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31
TEL 0424-63-1511 FAX 0424-63-3730
○九州支店 TEL 093-613-2833 FAX 093-613-2854
○関西支店 TEL 06-6391-6022 FAX 06-6391-0927
○千葉支店 TEL 043-264-4939 FAX 043-264-4935
○福島支店 TEL 0245-46-6981 FAX 0245-45-0800



そのほか当社では
福祉用具レンタル・販売
も取り扱っています



車いすなんでも相談



求人案内

医療法人社団もみの木 もみの木医院

理学療法士募集

通所リハビリテーション もみの木デイケア
利用者定員36名、平成24年4月開所
当法人は、笑顔、親切、丁寧をモットーとし、患者様、利用者様の立場に立ったサービスを提供いたします。
大和駅から徒歩4分 通勤至便。
お子様が病気の時は、医院併設の病児保育室の利用可（無料）

募集人数：1～2名

資格：理学療法士

勤務内容：通所リハビリのリハビリテーション

勤務時間：8：30～17：30

休日：日曜他1日 週休2日制
夏季休暇 年末年始休暇

待遇：基本給 240,000円～300,000円

精勤手当 10,000円

扶養手当 5,000円

通勤手当 20,000円まで

賞与 年2回

育児休暇 取得実績あり

加入保険 雇用、労災、健康、厚生

退職金制度あり 勤続2年以上

パート勤務の方も歓迎します。

時給 1,800円

勤務時間、勤務日数応相談

勤務地：大和市大和南2-6-17

応募方法：電話連絡の上、随時面接を行います。

連絡先：TEL：046-205-0100

担当：鈴木

メールアドレス：mominoki_day@yahoo.co.jp

URL：http://mominoki-day.com

横浜つづき整形外科

理学療法士募集

横浜市都筑区のショッピングモール内にある整形外科です。
当院は肩こりからスポーツの外傷まで行っていますので、小さなお子様から高齢者の方までご来院されます。
また、向側にあるパーソナルトレーニング施設（R-Body Project / 横浜つづき）とも連携し、カラダのトータルサポートを目指しております。

募集人数：若干名

資格：理学療法士免許

勤務内容：整形外科クリニックにおける外来患者さんへの運動器リハビリテーション業務です。

勤務時間：平日9：00～13：00、15：00～19：00（休憩2時間）
土日祝9：00～13：00

※水曜日は休診 ※土日祝は午前診療のみ

休日：水曜日+月2日休み、夏期・年末年始、GW、有給休暇

待遇：月額250,000円～400,000円（基本給+手当）

賞与年2回、昇給あり、交通費支給（上限あり）、社会保険完備

勤務地：センター北駅徒歩1分（モザイクモール港北内）

応募方法：電話連絡の上、履歴書・職務経歴書を送付して下さい。

連絡先：TEL：03-3473-3872

（書類送付先）

〒150-0012

東京都渋谷区広尾5-5-1 広尾いがらしビル5階

担当：管理部 堀越

メールアドレス：y-horikoshi@yokohamatsuzuki.com

URL：http://www.yokohamatsuzuki.com/index.html

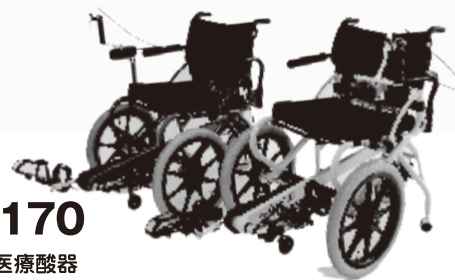
自由 に走り回る ことが出来る

リハビリ難民の再挑戦～足こぎ車いす

『最先端』のチェアサイクル

Profhand 電話 045-852-8170
プロファンド

株式会社 星医療器



求人案内

訪問看護ステーション ケアーズたまプラーザ

訪問リハビリ専門職募集

5月に新規オープンした訪問看護リハビリステーションです。オープニングスタッフとしてリハビリ専門職の方を募集しています。リハビリに特に注力して運営をしていく方針です。

募集人数：2名

資格：PT、OT

勤務内容：常勤：基本的に利用者宅訪問（医師の指示書に合わせたリハビリ実施）

非常勤：希望シフトにあわせて利用者宅訪問（同上）

勤務時間：9：00～18：00

非常勤は希望シフト制

休日：土・日・祝日、夏期休暇、年末年始休暇、GW休暇

待遇：常勤：基本給30万円以上（訪問回数に合わせ手当等あり）

社保等完備

非常勤：訪問1件（1H）あたり単価3,500円～4,200円（経験に準ずる）

勤務地：川崎市宮前区

（東急田園都市線たまプラーザ駅）

応募方法：電話、メール

連絡先：TEL：044-979-1365

メールアドレス：info@aoi-partners.jp

担当：後藤

聖隷横浜病院

理学療法士募集

病床数300床の急性期病院です。届出施設基準は、脳血管2・運動器1・呼吸器1です。リハビリテーション室は非常に狭いですが、少人数でアットホームな雰囲気です。訓練を行っています。

募集人数：若干名

資格：理学療法士の有資格者

勤務内容：入院・外来患者様に対する、理学療法業務

勤務時間：1日の勤務時間…7時間30分（拘束時間8時間30分・休憩60分）

1週間の勤務時間…40時間

（交代制勤務あり）

休日：4週8休制

待遇：モデル賃金

※4大卒・社会人経験5年・時間外勤務月10時間

月収例：234,000円 年収例：3,747,000円

諸手当：通勤・住宅・時間外勤務、扶養手当ほか

昇給：年1回 賞与：年3回

勤務地：神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町215

応募方法：まずは法人本部人事課までお電話下さい。

連絡先：法人本部人事課 TEL：053-413-3290

担当：法人本部人事課 山口

メールアドレス：k_yamaguchi@sis.seirei.or.jp

URL：http://www.seirei.or.jp/hq/

介護老人保健施設 ほほえみの丘

理学療法士募集

事業主：JA神奈川県厚生連 平成26年度に向けての募集

※平成26年1月頃からの勤務可能

安心安定のJAグループの介護老人保健施設でのリハビリ業務です。

募集人数：常勤1名

資格：理学療法士

勤務内容：介護老人保健施設でのリハビリ業務です。

勤務時間：常勤：8：30～17：00（土曜日8：30～12：30）

休日：週休2日、年末年始休暇、リフレッシュ休暇等

待遇：基本給、調整手当は、規程による。賞与年4.85ヶ月+20,000円。社会保険完備、有給休暇有り。交通費全額支給。

勤務地：小田急線伊勢原駅より徒歩約10分

応募方法：電話連絡の上、面接実施

連絡先：TEL：0463-97-5522（伊勢原市下平間700番地）

担当：業務課 今井・次長 高橋

メールアドレス：hohoeminooka@kanagawa.kouseiren.net

URL：www.kouseiren.net/hohoemi/

医療法人興生会 相模台病院

理学療法士募集

病院（306床）を中核とし、関連部門（介護老人保健施設、健診クリニック、訪問看護）が一体となり、医療、介護サービスをお届けしています。

募集人数：常勤：若干名

資格：既卒者 ※新卒可

勤務内容：病院または介護老人保健施設でのリハビリテーション業務。

勤務時間：8：45～17：15【早番：8：15～16：45】

休日：週休2日制（日、祝ほかシフト制）、夏季休暇、年末年始休暇

待遇：給与：規定による（経験考慮）

賞与：4.2ヶ月（前年実績）

勤務地：小田急線「小田急相模原駅」より徒歩15分

応募方法：履歴書をご郵送下さい。

連絡先：〒252-0001 神奈川県座間市相模が丘6-24-28

TEL：046-256-1047

担当：人事課 山下

メールアドレス：humres228@sagamidai.or.jp

URL：http://sagamidai.com/

求人案内

介護老人保健施設 能見台パトリア

理学療法士募集

能見台パトリアは、京浜急行線能見台駅から徒歩8分、高層マンションが立ち並ぶ住宅街の中にあり、公園も隣接し緑に囲まれた近代的な施設です。

入所定員150床、通所リハビリテーション定員40名です。

入所定員の内訳は、一般療養棟65床、軽度の認知症棟45床、認知症専門棟40床となっています。

募集人数：若干名

資格：理学療法士

勤務内容：ご利用者に対する評価とリハ計画の作成、専門的リハの提供、他職種も含めて実践する生活機能向上プログラムの指導。

リハスタッフへの指導・助言及び各種会議への参加。

勤務時間：8：30～17：30

休日：週休2日制、年末年始休暇、年間117日（シフト制）

待遇：法人規程により優遇、社会保険完備・有給休暇、交通費支給（法人規程による）

勤務地：横浜市金沢区能見台東10-1

応募方法：事前連絡のうえ、履歴書郵送ください。面接日調整します。

連絡先：TEL：045-790-5733

担当：総務 佐々木

メールアドレス：tsasaki155@lake.ocn.ne.jp

URL：http://www6.ocn.ne.jp/~kowakai/

アルプスの杜「さがみ」

理学療法士募集

神奈川県相模原市の自然豊かな場所に位置する有料老人ホームです。ご入居者の方々が「いきいきと暮らす」ことができるよう、ADLの維持向上、QOLの向上を目指し、介護サービスを提供致します。

今後リハビリの専門職に加わっていただき、さらなるサービスの向上を行なっていきます。

募集人数：1名

資格：理学療法士

勤務内容：・介護付有料老人ホーム内で機能訓練指導員としてのリハビリ

・他職種へのリハビリ分野における指導等

勤務時間：9：00～18：00

休日：シフト制により（応相談）

待遇：基本給：260,000～290,000円（経験等考慮）

資格手当：30,000円

昇給、賞与あり

社会保険完備

勤務地：神奈川県相模原市南区下溝684-1

応募方法：電話連絡

連絡先：TEL：042-777-6525

担当：青木 雄一

メールアドレス：y-aoki@alpsnomori.co.jp

URL：http://www.alpsnomori.co.jp



求人案内

介護老人保健施設 なぎさ

理学療法士募集

優しい職員と、前に三浦海岸、後ろに富士山が見える風光明媚な場所に建ってます。

入所60床（平成26年4月100床に増床）

通所リハビリ 定員40名

募集人数：2名

資格：理学療法士免許

勤務内容：入所者及び通所リハビリ利用者へのリハビリ業務

勤務時間：8：30～17：30

休日：土日曜日・祝祭日・創立記念日・年末年始・夏休

待遇：185,000円～241,500円

住宅手当 36,000円

赴任費用

託児室あり

勤務地：神奈川県三浦市南下浦町上宮田1308

応募方法：面接

連絡先：TEL：046-888-7080

担当：事務長 鈴木正己

メールアドレス：m-suzuki@shinjinkai.or.jp

URL：http://www.shinjinkai.or.jp

一般社団法人 西区医師会訪問看護ステーション

理学療法士、作業療法士募集

医師会立の訪問看護ステーションです。

横浜市18区の中で一番小さな区ですので、移動距離は短く短時間で訪問に回れます。

新規リハビリ部門開設のため、一緒に作り上げていきたいと思えます。

10月より横浜市で最初の在宅医療連携拠点も始まります。

募集人数：各2名

資格：理学療法士

勤務内容：利用者宅を訪問、リハビリ

報告書の作成

勤務時間：9：00～17：00

休日：土、日、祝日、年末年始12／29～1／3

待遇：・交通費全額支給

・常勤：経験年数考慮

・非常勤：介護報酬の50%支給、賞与、退職金あり

勤務地：横浜市西区全域

応募方法：電話にて連絡、面接にて決定

連絡先：TEL：045-320-3061

担当：石橋好子

メールアドレス：rakuraku@topaz.ocn.ne.jp



求人案内

医療法人社団佑樹会 めぐみの里

理学療法士募集

ふれあいの温もりに包まれて「いきいき」生活リハビリテーション

募集人数：1名

資格：理学療法士

勤務内容：運動機能検査、運動療法の計画・実施・評価

勤務時間：9：00～17：30（休憩60分・実勤7.5h）

休日：4週8休制 年間休日105日 夏季休暇あり

待遇：昇給年1回 賞与年2回 社会保険完備 退職金制度あり

交通費規定内支給 制服貸与 皆勤手当 車・バイク通勤

勤務地：神奈川県秦野市渋沢1296-1

めぐみの里

応募方法：履歴書を郵送

連絡先：神奈川県秦野市渋沢1296-1

めぐみの里

担当：総務課 福地

メールアドレス：k.fukuchi@yuuki-kai.com

URL：http://www.yuuki-kai.com

フォーシーズンズヴィラそよかぜ

機能訓練指導員募集

平成20年5月に設立した施設で、ユニットケアをとりいれた指定介護付ケアハウスです。

職員出産休暇にともなう有期職員の募集です。

100床の施設です。理学療法士2名勤務しています。

募集人数：1名

資格：理学療法士

勤務内容：要介護者への機能訓練業務。

勤務時間：8：30～17：30

休日：シフト制

待遇：月給259,000円～

健康保険、厚生年金保険、雇用保険

勤務地：横浜線中山駅より車10分（送迎車あり）

応募方法：電話連絡のうえ面接

連絡先：TEL：045-938-0127 FAX：045-938-0128

担当：施設長 須田邦彦

メールアドレス：soyokaze@mima-gr.jp

URL：http://www.4seasons-v.jp/



求人案内

医療法人社団蒼紫会 森下記念病院

理学療法士募集

急性期対応病院 病床数114床、透析センター 透析用ベット
87床、透析患者230名

診療科目

消化器外科、消化器内科、外科、内科、循環器内科、眼科

募集人数：1名

資格：理学療法士免許

勤務内容：主に透析患者のリハビリ担当

勤務時間：8：45～17：15 実働7時間30分

休日：4週8休制

待遇：基本給 170,000円～300,000円

職務手当 40,000円

住宅手当 15,000円

皆勤手当 8,000円

クリーニング 1,200円

経験により加算

勤務地：神奈川県相模原市南区東林間4-2-18

応募方法：連絡、履歴書送付

連絡先：TEL：042-742-6702

メール soumu@jcom.home.ne.jp

担当：事務局長 島田繁美

URL：http://www.morishita.or.jp

にこにこ訪問看護ステーション

理学療法士、作業療法士募集

利用者増加につきスタッフ募集しています！

新事務所新設中！

現在、看護師6名、ST1名、ケアマネ3名、事務2名。

勤務時間、日数応相談可です。マイカー通勤可。

全訪問車カーナビ付き。研修制度もあります。

募集人数：若干名

資格：有資格者、運転免許

勤務内容：訪問看護リハビリステーションにおける理学療法、
作業療法業務。

勤務時間：9：00～17：30 休憩時間45分

休日：土日、祝日、年末年始、夏休み

待遇：常勤：年収600万以上（当社規定による）

非常勤：1件につき4,000円（1時間）

50時間／月以上～4,500円（1時間）にUP！

賞与2回有 交通費全額支給

勤務地：根岸線本郷台駅から徒歩8分（車通勤も可）

応募方法：まずはお電話にてご連絡ください。

連絡先：神奈川県横浜市栄区小菅ヶ谷4-9-38-102

TEL：045-410-8780

担当：小野寺

メールアドレス：nikonikohoumonst@kyi.biglobe.ne.jp

URL：http://nikonikohoumonst.com/



求人案内

高木整形外科

理学療法士募集

小田原市にある19床の有床型整形外科クリニックです。
高齢者の変性疾患、一般外傷、交通外傷などの保存療法症例が多く、理学療法、整形機能訓練などを施行しております。
リハビリ、理学療法業務の充実のため理学療法スタッフを募集いたします。
常勤での募集ではありますが、勤務日数、勤務時間など相談に応じます。

募集人数：若干名

資格：理学療法士

勤務内容：入院と外来患者様に対する理学療法業務

勤務時間：常勤 9：00～19：00（診療時間内の8時間勤務）

休日：4週6休

勤務日数、勤務時間の相談に応じます。

待遇：基本給、調整手当。規定による。

勤務地：小田原市蓮正寺310-1（小田急線蛸田駅より徒歩1分）

応募方法：電話連絡の上、面接実施

連絡先：高木整形外科医院

〒250-0865 小田原市蓮正寺310-1

TEL：0465-37-0081 FAX：0465-37-0178

担当：石田 安田

メールアドレス：kaoru@takagi-seikeigeka.jp

URL：http://www.takagi-seikeigeka.jp/

ケアーズ訪問看護リハビリステーション都筑

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士募集

5月1日よりスタートの訪問看護ステーションです。
訪問リハビリに興味ある方、見学ご希望の方はお気軽にお電話下さい!!

募集人数：3名

資格：有資格者

勤務内容：訪問看護リハビリステーションにおける理学療法、作業療法、言語聴覚士業務

勤務時間：常勤9：00～18：00

※パート、アルバイトの方も歓迎します。勤務時間相談に応じます。

休日：土日、祝日、年末年始

待遇：常勤：月給25万円～

（70件を超えると1件につき4,000円）

非常勤：1件につき4,000円（1時間）

社会保険完備、交通費2万5000円まで

勤務地：地下鉄ブルーライン仲町台駅より徒歩5分（車通勤可）

応募方法：電話にてご連絡下さい。

連絡先：〒224-0041

横浜市都筑区仲町台5-2-11

TEL：045-507-9260

担当：深町（フカマチ）

メールアドレス：next-fukamachi@tune.ocn.ne.jp

医療法人社団善仁会 かもい腎クリニック

常勤・非常勤募集

平成24年9月に開院したばかりの透析専門クリニックです。
病棟並びに外来透析患者さまのADLの維持・向上の為、リハビリ部門をリードしてくれる人材を募集しております。

募集人数：若干名

資格：有資格者

勤務内容：透析患者さまのリハビリテーション並びにリハビリテーション部門の立ち上げ。

勤務時間：常勤：8：30～16：45

非常勤：応相談

休日：4週8休、年末年始、夏季休暇、創立休暇

待遇：基本給、調整手当は規定による。

社会保険完備、有給休暇有り。

交通費全額支給（非常勤は規定内支給）

勤務地：横浜市緑区鴨居2-17-15

JR横浜線鴨居駅徒歩4分

応募方法：有床診療所、透析クリニック

連絡先：TEL：045-938-8780

担当：採用担当

メールアドレス：kamoicl@grp.zenjinkai.or.jp

URL：http://www.zenjinkai.or.jp/dialysis_clinic/kamoi/

復職支援実務研修のお知らせ

目的：臨床から離れたことにより復職に不安を感じている方に、現場での研修を通じて自信をつけてもらうことを目的とした研修です。

対象者：離職中の神奈川県理学療法士会会員（復職先が決まっている方は対象外）

研修先：希望の地域、職域（回復期、訪問リハなど）を元に相談させていただきます。

※研修先として確約いただいている施設はホームページに掲載しています。

期日：5時間×5日間分（連続5日間でなくてもOK。期日や研修の方法は相談して決めます）
1日のみの研修も相談に応じます。

受講費：5,000円

申込締め切り：平成26年2月14日

問い合わせ先：下記までメールでお願いします。

詳しくは県士会ホームページをご覧ください。

lifesupport@pt-kanagawa.or.jp

（会員ライフサポート部 寺尾）

求人情報はホームページでも確認できます。
http://www.pt-kanagawa.or.jp/members/job-offer/

編集後記

5月に第48回全国学術大会が愛知県名古屋市で盛大に開催され、無事に閉会しました。来年の第49回大会が、この神奈川県横浜市で開催されるのに先立ち、初日の学会レセプションでは、神奈川をアピールする中国獅子が実に見事な舞を披露したそうです。準備委員会は3年ほど前から活動を開始し、着々と学会準備が進行しているようです。このニュースの紙面にも新着情報が度々掲載されていますので、皆さんも楽しみにしていることでしょう。

第49回大会は県士会が担当で開催される最後の大会だそうです。そんな節目となる全国大会を紙面から支えられるように、我々ニュース編集部として、ホットな情報をいち早く皆さんにお届けできるように取り組み、また少しでも士会員の皆さんが「大会に参加したい」、「大会を盛り上げたい」と思わせる紙面を作っていきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。 中村

●お詫び●

士会ニュース No.251 において誤植がありました。P24 足柄リハビリテーショングループの広告において、電話番号の誤植ならびに数ヶ所の脱字がありました。正しい広告は本号 P18 に掲載されておりますのでご確認をお願い申し上げます。関係者の皆様にはご迷惑をおかけしましたことを、お詫びいたします。

公益社団法人神奈川県理学療法士会ニュース 2013年5月号 NO.251 (P2～3) に掲載の「平成25年度新人教育プログラム学術講習会・研修会予定」の一覧表について一部間違いがありましたのでお知らせいたします。

訂正内容：新人教育プログラムの「修了要件(単位数)」

正しい一覧表は、本会ホームページでご確認申し上げます。「2013/05/28 本会5月号ニュース記事訂正についてのお知らせ」
<http://pt-kanagawa.or.jp/members/education/5.html>

関係者の皆様にご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。

次号の原稿締め切りは**8月6日**です。

昭和大学保健医療学部理学療法学科(ニュース編集部宛)

FAX 045-985-7584

news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp

〈原稿は添付ファイルをお願い致します〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用下さい。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくお願致します。

ー 求人広告掲載についてのお知らせ ー

求人広告はホームページの求人掲載方法からお申込下さい。

ホームページ：<http://www.pt-kanagawa.or.jp/>
お問合せは下記迄お気軽にお寄せ下さい。

◎宛先

〒220-0003 横浜市西区楠町4番地12 アーリア20 101号

神奈川県理学療法士会 事務局内 広告担当宛

TEL. 045(326)3225 / FAX. 045(326)3226

メールアドレス：kohkoku@pt-kanagawa.or.jp

受付時間：平日 10:00～17:00

◆ニュース編集部員◆

担当理事：坪内 敬典(茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)

部長：加賀谷善教(昭和大学保健医療学部)

部員：中村 大介(昭和大学保健医療学部)

山崎 弘嗣(昭和大学保健医療学部)

稲葉 康子(昭和大学保健医療学部)

加茂野有徳(昭和大学保健医療学部)



神奈川県理学療法士会 メールマガジン登録お願いします

本会HPに掲載される、講習会、求人、会員向け最新情報を定期的にメルマガにて配信しております。

ぜひ、下記より登録してください。

◆メールマガジン配信の登録はこちらから

http://www.pt-kanagawa.or.jp/reg_mg.html



(年度末に送信エラーのメールアドレスは、本会で削除させていただきます)

ウェブサイト管理部 担当理事 福島 努